

総務委員会会議録

- 1 期 日 平成26年12月12日(金)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午前10時 3分
- 4 閉会時刻 午前11時53分
- 5 出席者 副委員長 雪山敏行
委 員 堀内武治 委 員 鈴木正治
委 員 鷺山喜久 委 員 大石 勇
委 員 小沼秀朗 委 員 山本裕三
- (当局側) 市長、総務部長、企画政策部長、企画政策部付参与、危機管理監
議会事務局長、水道部長、消防長、南部事務局長、所管課長
(事務局) 議事調査係 赤堀義幸
- 6 欠席者 委員長 山崎恒男
- 7 審査事項 ・議案第95号 平成26年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第1款 議会費
第2款 総務費
第6款 農林水産業費(第3項2目)
第8款 土木費(第4項7目)
第9款 消防費
第12款 公債費
第13款 予備費
第2条 地方債の補正
- ・議案第99号 平成26年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)
について
- ・議案第103号 平成26年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)につ
いて
- ・議案第109号 掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- ・議案第110号 掛川駅木造駅舎整備基金条例の廃止について
- ・議案第111号 新市建設計画の変更について
- ・議案第112号 和解について
- ・閉会中継続調査申し出事項について 9項目
- 8 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成26年12月12日

市議会議長 大石 興志 登 様

総務委員会 副委員長 雪山 敏行

8 会議の概要

平成26年12月12日（金）午前10時3分から、第3委員会室において7名の委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（市長）あいさつ

3) 付託案件審査

①議案第95号 平成26年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第1款 議会費

第2款 総務費

第6款 農林水産業費（第3項2目）

第8款 土木費（第4項7目）

第9款 消防費

第12款 公債費

第13款 予備費

第2条 地方債の補正

人件費について

〔総務部長 説明 10:06～10:08〕

〔質 疑〕 なし

第12款 公債費

第13款 予備費

第2条 地方債の補正

〔財政課 説明 10:08～10:13〕

〔質 疑〕 なし

第2款 総務費

〔行政課 説明 10:14～10:16〕

〔質 疑 10:16～10:18〕

○鷺山喜久委員

事項別明細書22頁、派遣職員人件費雑入の増額は、派遣期間の延長による補正なのか。

●大石行政課長

派遣期間の延長ではなく、各々人事院勧告の関係により給料等が上がっている。これを含めた補正である。

○鈴木正治委員

関連して、この人件費には勤務時間、時間外、帰省旅費等、全てを含んだ費用なのか伺う。

●大石行政課長

給料、時間外手当、職員手当、各種負担金すべて積算し、先方から頂いている。

第2款 総務費

〔管財課 説明 10:18～10:20〕

〔質 疑〕 なし

歳入 第1款 市税

〔市税課 説明 10:21～10:22〕

〔質 疑 10:21～10:23〕

○鈴木正治委員

当初予算に対して1億円の増額補正となっているが、厳しく見積もっていたのか、それとも景気回復の結果によるものなのか見解を伺う。

●深谷市税課長

景気は上向いている。11月までの調定額上位50社のうち自動車関連や化学工業関連企業が伸びている状況である。

第2款 総務費

〔企画調整課 説明 10:23～10:25〕

〔質 疑 10:25～10:29〕

○堀内武治委員

駅前広場と天竜浜名湖鉄道駅舎の間の整備について、JR側に要望をしていると思うが動きはどうか。

●松井三郎市長

市としてもどういう形で整備ができるか、土木課で検討させている。現時点では、具体的なものはお示しできないが、整備は必要だと思っている。全体的な計画ができれば示したい。

○鷺山喜久委員

木造駅舎完成記念誌が配られ、寄付者の氏名が掲載されていたが、市役所組織の部課長会からも寄付していたと思うが、職員に対し寄付を強要していないか伺う。

●松井三郎市長

職員個人のことについては一切指示を出していない。職員が自立して活動する職員に育っていると思っているので、この木造駅舎の寄付についても自主的に対応してくれたものと考えている。

○鷺山喜久委員

私の耳に掛川市の行政は寄附金行政だと耳にすることがあるので、くれぐれも注意をしていただきたい。

第2款 総務費

〔生涯学習協働推進課 説明 10:30～10:31〕

〔質 疑 10:31～10:33〕

○鷺山喜久委員

事項別明細書22頁、横城郡に行った人数を伺う。

●高川生涯学習協働推進課長

助成対象は職員2人である。

○鈴木正治委員

職員以外、どのような方がどのくらい行かれているのか。

●高川生涯学習協働推進課長

今回の訪問団員は全部で8人。内訳は、観光協会の理事、生涯学習振興公社の事務局1人、市職員2人、青年会議所から4人である。

○雪山敏行副委員長

地域環境整備調整費 3,800万円の増額について、これに対し個所付けは済んでいるのか。

●高川生涯学習協働推進課長

この個所についてはすでに決まっている。それ以外に突発的なものはこれからの対応になる。

第2款 総務費

第6款 農林水産業費（第3項2目）

第8款 土木費（第4項7目）

〔地域支援課 説明 10:34～10:37〕

〔質 疑 10:27～10:43〕

○堀内武治委員

事項別明細書30頁、掛川城周辺施設管理費について、二の丸茶室の壁等の修繕も含まれているのか。

●田辺地域支援課長

今回の補正は、二の丸茶室の正門のみ修繕を行う。

○堀内武治委員

壁の修繕はどうなのか。

●田辺地域支援課長

今回の台風による被害はなかった。

○堀内武治委員

事項別明細書66頁、ならここの里の施設修理費について、ならここの里の浴槽のかぶり湯が水道の蛇口のように施設に相応しくない。建設当時のような設備にしたほうがよいのではないか。その修繕費は含まれているのか。

●田辺地域支援課長

今回の修理費には入っていない。今後検討していく。

○堀内武治委員

蛇口でかぶり湯をするのでは風情がない。人気があって遠方からも来るので検討願いたい。

●松井三郎市長

今度利用して検討していきたい。

○堀内武治委員

水道の蛇口にして苦情がでたようなので検討して欲しい。

○鷺山喜久委員

事項別明細書30頁、二の丸茶室の正門が傾いたということだが、152万円というのは高いのか。根拠を伺う。

●田辺地域支援課長

元の材質は栗の木であったが高価であるため、檜で修繕を行う。
基礎の部分を除いて、木製の部分は全て新設させていただきたい。

○雪山敏行副委員長

指定管理者制度のなかで、少額修繕については指定管理者が負担することになると思うが、少額修繕とはどのくらいの金額なのか。

●田辺地域支援課長

指定管理者が修繕するものは、10万円以下の少額なものである。

第2款 総務費

〔I T政策課 説明 10:44～10:45〕

〔質 疑 10:46～10:53〕

○山本裕三委員

事項別明細書7頁、基幹システム管理費国庫補助金が1,000万円程減額されているが管理費は足りるのか。元々予定していたものができなくなるということがあるのかどうか。

●松浦 I T政策課長

当初、総務省から10分の10の補助金額3,388万5,000円が提示されていたが、住基系は10分の10であるが、税務系は3分の2の補助対象率に下げられた。補助金で全てを賄うことができなくなっただけ、不足分は一般財源からの持ち出しとなる。

○大石勇委員

事項別明細書30頁、社会保障の新しい機器を入れるのか。

●松浦 I T政策課長

備品購入費500万円は、国のサーバと連携するために新たにサーバを購入する費用である。

○山本裕三委員

サーバは自前で持たないといけないのか。

●松浦 I T政策課長

クラウド型のサーバが流行しているが、今回は購入で対応する。リースする場合には、それなりの設計をし、ネットワーク回線を使用することとなるので、それなりの対応をしなくてはならない。

○山本裕三委員

セキュリティの関係で自前の方がいいということなのか。

●松浦 I T政策課長

どちらにしても高セキュリティの対策をしていくことは肝要である。

○鷺山喜久委員

事項別明細書30頁、国民背番号制について、市民の権利や個人情報がこのことによって公然となり、税の取り立てなどが厳しくなることにつながるのではないか。

●松浦 I T政策課長

平成25年に社会保障・税番号制度に関する法案が成立し、今までの住民基本台帳の番号に代わるものとして新しい番号を入れていく。付番を付け暗号化し、個人情報が決して流出しないように考えられている。税の徴収についても公平な徴収に重きをおいて、この制度が使われていくのでご理解をいただきたい。

〔討 論〕

○鷺山喜久委員

反対の立場から討論する。社会保障・税番号制度は問題がある。個人情報流出に危惧するため、反対する。

〔採 決〕

①議案第95号 平成26年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第1款 議会費

第2款 総務費

第6款 農林水産業費（第3項2目）

第8款 土木費（第4項7目）
第9款 消防費
第12款 公債費
第13款 予備費

第2条 地方債の補正

賛成多数にて原案のとおり可決

②議案第 99号 平成26年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について

〔水道総務課 説明 10:56～11:00〕

〔質 疑 11:01～11:02〕

○山本裕三委員

事項別明細書 154頁、簡易水道事業費の補正は台風の影響が全てか。

●岡本水道総務課長

全てが台風の影響ではない。泉簡易水道の90万円の増額は、台風の影響により水の濁りが発生したため、濾過器の砂等の濾材を変えるものである。大和田簡易水道についても台風の影響により濁度計を補修するために160万円を予算化した。他のところについては、平成25年度決算が確定したことに伴い繰越金が確定したため、修繕費などを増額したものである。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

②議案第 99号 平成26年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について

全会一致にて原案のとおり可決

③議案第 103号 平成26年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）について

〔水道総務課 説明 11:03～11:07〕

〔質 疑〕なし

〔討 論〕なし

〔採 決〕

③議案第 103号 平成26年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）について

全会一致にて原案のとおり可決

④議案第 109号 掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

〔消防総務課 説明 11:10～11:12〕

〔質 疑〕なし

〔討 論〕なし

〔採 決〕

④議案第 109号 掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

全会一致にて原案のとおり可決

⑤議案第110号 掛川駅木造駅舎整備基金条例の廃止について

[企画調整課 説明 11:14~11:15]

[質 疑 11:15~11:17]

○鈴木正治委員

基金総額 8,765万 6,000円の使途について概略を伺う。また、JRの負担した金額を伺う。

●鈴木企画調整課長

工期は平成23年度から26年度までの4年間で、駅舎本体の工事、JR東海ツアーズの外壁の改修、北口のトイレ改修、その他建物の調査等を含め、合計で4億480万円ほどであった。そのうちJRの負担が2億7,590万円ほど、掛川市の負担が1億2,900万円である。うち国の交付金40%の約4,100万円、利子等を含めた寄附金が約6,758万5,000円、市有地を2,000万円売却し充当した。

[討 論] なし

[採 決]

⑤議案第110号 掛川駅木造駅舎整備基金条例の廃止について

全会一致にて原案のとおり可決

⑥議案第111号 新市建設計画の変更について

[企画調整課 説明 11:18~11:23]

[財 政 課 説明 11:23~11:29]

[質 疑 11:30~11:44]

○堀内武治委員

今説明を受けたが、想定している事業名について説明をお願いする。

●山本財政課長

平成27年度については、南北幹線道路整備事業のほか、中央消防署建設事業、学校給食センターの設計等を見込んでいる。他には生物循環パビリオン能力増強事業や海岸防災林強化事業等について、合併特例事業として見込んでいる。

平成28年度については、南北幹線道路整備事業のほか、学校給食センター建設事業、生物循環パビリオン能力増強事業、海岸防災林強化事業等を見込んでいる。

平成29年度については、南北幹線道路整備事業が本格化する時期と予想している。その他、学校給食センター建設事業の最終年度、生物循環パビリオンの能力増強を継続して進めていく。また、地域間道路整備や海岸防災林強化事業も引き続き進めて行く。また、小学校の体育館や老朽化した校舎の建て替えなども見込んでいる。

平成30年度には、南北幹線道路整備事業のほか生物循環パビリオン能力増強事業の最終年度、地域間道路整備や海岸防災林強化事業、小学校の体育館の改築、小学校校舎の老朽改築を予定している。

平成31年度については、南北幹線道路整備事業のほか、地域間道路整備や海岸防災林強化事業、小学校の体育館の改築、小学校の校舎改築を予定している。

平成32年度についても南北幹線道路整備事業のほか、地域間道路整備や海岸防災林強化事業、小学校の体育館の改築、小学校の校舎改築を予定している。

○堀内武治委員

考え方はわかったが、南北道路の関係については、掛川市街から南に行く道路と北部から掛川市街に来るルートという考え方があった。具体的にいうと東環状線や西環状線を含めた南北幹線道路整備という考え方が無いのか。また、地域間道路整備については、道路整備計画があると思

うが、どのような考え方でいるのか説明願う。

●松井三郎市長

これから議会とも協議をしていきながら決めて行くことになるが、大まかな財政計画を作成し個別事業をはめ込んでいくことになるので、ここで詳細には申し上げられないが、南北道路の整備については、南に整備した起伏の多いところをなだらかに解消していく。小中学校の関係については、南部も含めて統廃合を視野に入れながら整備をしていくことを検討していくが、まだ議会にも話をしていないし、財源調整もできていない状況である。道路整備事業についても整備箇所を特定することは控えさせていただきたい。今回、計画を策定したが状況によっては変更はあり得る。当面の平成27年、平成28年は計画を固めてきている事業だとご理解いただきたい。

○堀内武治委員

地域間道路については、数年前に優先順位を含めた道路整備計画を議論し、一定の方針が確立しているので、そこは踏まえていくということで良いか。

●松井三郎市長

おっしゃるとおり、そういうことで進めて行く。

○鈴木正治委員

合併特例債は交付税措置されるので有利な起債だと思うが、学校名などを出して進めて行った方が良いと思うが如何か。

●松井三郎市長

例えば、中央小学校は個名が出ている。内部では教育委員会との協議で学校名が出ているが、子どもの数が少なくなってきたので、幼稚園や保育園もそうであるが、小中学校も統廃合を視野に入れながら改修、あるいは新設をしていくということで財源充当していく。議会にも早くお示しをしていきたい。ここはしっかり協議をしていく必要があるので、できるだけ早く協議する場を設けていきたいと思っている。

○堀内武治委員

小学校の統廃合問題は、議会でも専門的に調査研究する特別委員会を設置して議論を深める体制をつくっていききたいと思っている。

○雪山敏行副委員長

合併特例債は限度額があると思うが、現時点で最大発行できる額はどのくらいになるのか。

●山本財政課長

発行限度額は 320億円程度である。

○鷺山喜久委員

発行限度額の話がでたが、平成17年度当時は借金も多かったため、合併特例債を押さえた計画であった。今回は5年間延長して事業を推進していくということで計画変更されたが、気になるのは財政面である。国の財政状況を鑑みれば交付税措置がいつまで続くのかわからないため、安易に特例債を利用することは危険であると思っているので意見を言うておく。

●松井三郎市長

掛川市の財政状況をみると、財政力は極めて高くなってきているが、これまで借りた起債は県下でも上位を争う位置にいるので、借金を返していきながら有利な起債を借りるということで合併特例債を活用する。5頁の表を見ていただければ、この計画自体は努力をしている。いろいろなニーズはあるが、事業展開するときはスクラップアンドビルドという考え方がないと新しく政策展開することはできない。この財政指標と財政計画をみていただきたい。具体的な事業展開になれば、しっかりした議論が必要である。今回、新市建設計画を変更し、10年のスパンの財政計画を定めた。この財政計画を目指して事業展開していかないと鷺山委員の言われる借金ばかりになるということは避けなければいけないと思っている。

○鷺山喜久委員

市長の答弁があつたが、私が言いたいのは市の発展と市民のためにしっかり検討して使っていないといけないと思っているので、意見として述べたと言うことである。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

⑥議案第111号 新市建設計画の変更について

賛成多数にて原案のとおり可決

⑦議案第112号 和解について

〔財政課 説明 11:46～11:49〕

〔質 疑 11:49～11:51〕

○鷺山喜久委員

菊川市や牧之原市でも同じ議案が上がってると思うが、他市で否決された場合はどうなるのか。

●廣畑総務部長

経過にもあるように、2月に発覚してから調整を行ってきたわけだが、昨年度の段階では県はシビアな対応で損失額の一部しか出さないという話もあった。松井市長の強いリーダーシップで県との調整を行ってきたが、当初から菊川市や牧之原市は掛川市と同一歩調ということで調整を執りながら進めてきた。交付税措置される元利償還金の45%を全額、県が負担するというのである。仮に財政力指数が1を超えた場合、もらえなくなる交付税相当額まで県はこの段階で見込んでくれるということであるので、両市も反対することは無いと思っている。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

⑦議案第112号 和解について

全会一致にて原案のとおり可決

4) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 9項目

閉会中継続調査申し出事項 9項目で了承

5) 閉会 11:53